

## 大阪府北部を震源とする地震について

中島 克人 Katsuhito Nakajima

リスクマネジメント事業本部

BCMコンサルティング部

上席コンサルタント

飛鳥馬 隆志 Takashi Asuma

リスクマネジメント事業本部

BCMコンサルティング部

上席コンサルタント

### はじめに

2018年6月18日の午前7時58分頃、大阪府北部で最大震度6弱の地震が発生した。本稿は6月19日14時頃までに公表された情報を取りまとめた。皆様のお役に立てば幸甚である。

### 1. 地震概要

#### 1.1. 地震の概要

今回の地震の概要は以下の通りである（表1）。

表1 大阪府北部の地震の概要<sup>1</sup>

発生日時	2018年6月18日7時58分
マグニチュード	6.1(暫定値)
場所および深さ	大阪府北部、深さ13km(暫定値)

#### 1.2. 各地の震度

各地の震度の分布は以下の通りである（図1）。大阪府大阪市北区、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市で震度6弱を観測した。

<sup>1</sup> 気象庁平成30年6月18日07時58分頃の大阪府北部の地震について（第2報）

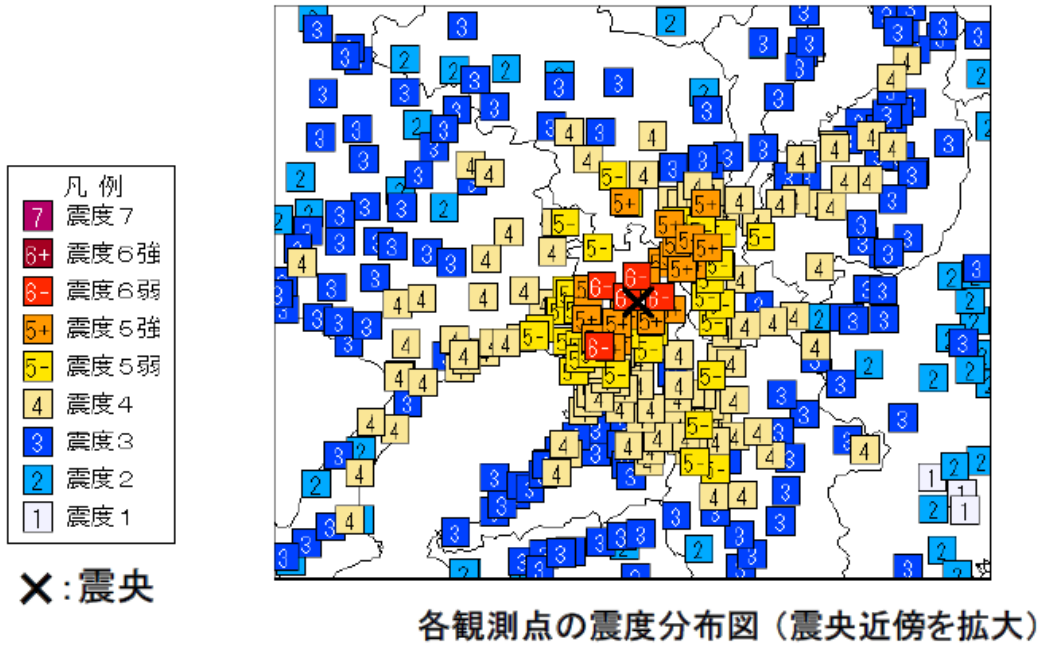


図 1 地震震度分布<sup>2</sup>

### 1.3. 地震の発生状況

今回の地震発生後、震度1以上を観測する地震は、18日15時までに15回発生している（表2）。

表 2 地震の発生回数<sup>3</sup>

## 大阪府北部の地震活動の最大震度別地震回数表

平成30年6月18日07時～6月18日15時、震度1以上

（注）掲載している値は速報値であり、後日変更する場合があります。

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
6/18 07時-15時	10	5	0	0	0	0	1	0	0	16	16	

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
6/18 07時-08時	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
08時-09時	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	8	
09時-10時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	
10時-11時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
12時-13時	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	14	
13時-14時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	16	
14時-15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
総計	10	5	0	0	0	0	1	0	0	16	16	

気象庁は、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度6弱程度の地震に注意が必要であることを喚起している。

<sup>2</sup> 気象庁平成30年6月18日07時58分頃の大阪府北部の地震について

<sup>3</sup> 気象庁平成30年6月18日07時58分頃の大阪府北部の地震について（第2報）

### 1.4. 地震の特徴

今回の地震は、マグニチュード (M) 7 を超す大地震の可能性がある 3 つの活断層が集まる地域で発生した。神戸市北部から大阪府高槻市に延びる「有馬-高槻断層帯」、大阪市を中心に縦断する「上町断層帯」、大阪府東部を南北に延びる「生駒断層帯」である。今回の地震は有馬-高槻断層帯の東端のやや南で発生しているが、どの活断層の地震なのかは特定できていない。

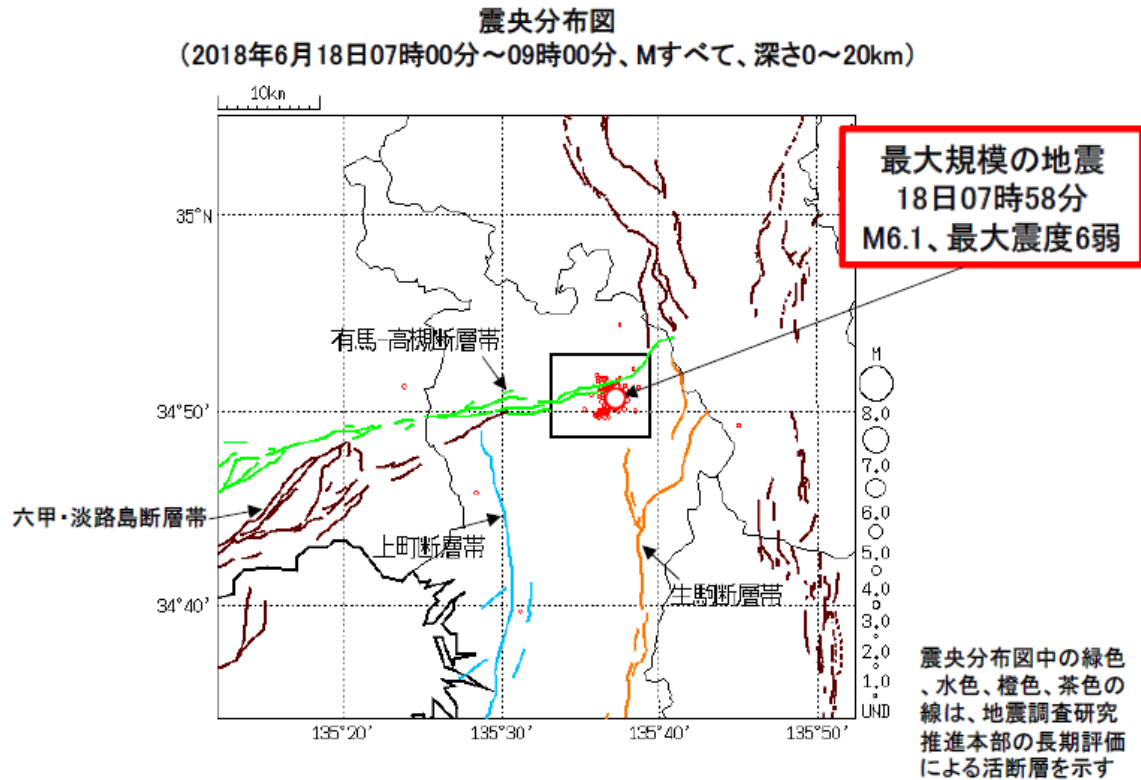


図 2 「有馬-高槻断層帯」「上町断層帯」「生駒断層帯」の位置<sup>4</sup>

### 2. 被害概要

今回の地震によるライフライン等の被害状況は、以下の通りである。

表 3 人的被害・物的被害<sup>5</sup>

項目	状況
1 人的被害	死者 4 名、重傷 2 名、軽傷 370 名、程度不明の負傷者 7 名
2 住宅被害	一部破損 334 棟
3 火災	6 件(大阪市消防局 2 件、高槻市消防本部 1 件、尼崎市消防局 3 件)
4 避難所	京都府: 避難所数 10 箇所、避難者数 24 名
	大阪府: 避難所数 346 箇所、避難者数 1785 名
	兵庫県: 避難所数 8 箇所、避難者数なし

<sup>4</sup> 気象庁平成 30 年 6 月 18 日 07 時 58 分頃の大阪府北部の地震について

<sup>5</sup> 消防庁災害対策本部大阪府北部を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況 (第 12 報)

表 4 ライフラインの被害<sup>6</sup>

	項目	状況		備考
1	停電	大阪府内で約 17 万 320 軒が停電 兵庫県内で約 490 軒が停電	6 月 18 日 10 時 43 分復旧	関西電力株式会社発表 6 月 18 日 11 時現在
2	断水	高槻市、箕面市で断水発生 吹田市、高槻市、箕面市において、自衛隊による給水支援		大阪府第 4 回災害対策本部会議資料 6 月 19 日 10 時
3	ガス	供給停止 111,951 戸 供給停止地域(茨木市、高槻市、摂津市、吹田市の一部)	他事業者からの応援も得て、順次供給の再開を行い、6 月 26 日から 6 月 30 日までを目処に供給を再開できるよう取り組んでいる	大阪府第 4 回災害対策本部会議資料 6 月 19 日 10 時
4	通信	一部発信規制を行ったが、同日中に規制を解除。 安否情報確認のための災害用伝言板を開設。		

表 5 道路の被害<sup>7</sup>

	対象	状況
1	高速道路、国道	点検に伴う通行止めを行ったが、点検後通行止めを解除
2	府道	大阪高槻線通行止め(高槻市) 6 月 19 日 9 時頃、水道・道路復旧 交通解放見込

表 6 鉄道の被害<sup>8</sup>

	対象	状況
1	JR 東海	東海道新幹線(米原-新大阪)
		6 月 18 日 12 時 50 分運転再開
2	JR 西日本	山陽新幹線(新大阪-岡山)
		6 月 18 日 14 時 58 分運転再開
		在来線
		6 月 18 日夜または 6 月 19 日始発から運転再開
3	私鉄	主要私鉄各社
		6 月 18 日中に運転再開
4	大阪メトロ	御堂筋線
		6 月 18 日夜に運転再開

表 7 空港の被害<sup>9</sup>

	対象	状況
1	大阪国際空港	滑走路異常無し。一部天井部品の破損、壁面ひび割れが発生。
2	関西国際空港	滑走路異常無し。その他空港施設等に異常無し。
3	神戸空港	滑走路異常無し。その他空港施設等に異常無し。
4	八尾空港	滑走路異常無し。その他空港施設等に異常無し。

<sup>6</sup> 大阪府、関西電力株式会社の発表資料などをもとに当社作成

<sup>7</sup> 国土交通省大阪府北部を震源とする地震について(第 6 報)及び大阪府第 4 回災害対策本部会議資料をもとに当社作成

<sup>8</sup> 国土交通省大阪府北部を震源とする地震について(第 6 報)及び大阪府第 4 回災害対策本部会議資料をもとに当社作成

<sup>9</sup> 国土交通省大阪府北部を震源とする地震について(第 6 報)をもとに当社作成

表 8 原子力発電所の被害<sup>10</sup>

	発電所名(電力会社)	立地市町村	状況	立地市町村震度 (立地都道府県震度)
1	美浜発電所(関西電力)	福井県三方郡美浜町	異常なし	2
2	高浜発電所(関西電力)	福井県大飯郡高浜町	異常なし	3
3	大飯発電所(関西電力)	福井県大飯郡おおい町	異常なし	2

### 3. 行政、企業等の対応

今回の地震による行政、企業等の対応状況は以下の通りである。

表 9 日本政府の対応状況<sup>11</sup>

	日時	対応状況
1	6月18日 08:00	官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
2	6月18日 08:03	総理指示 1. 早急に被害状況を把握すること 2. 地方自治体とも緊密に連携し、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むこと 3. 国民に対し、避難や被害等に関する情報提供を適時的確に行うこと
3	6月18日 08:20	緊急参集チーム協議開始
4	6月18日 15:00	関係省庁対策会議
5	6月18日 16:28	関係局長級会議
6	6月18日 17:49	関係閣僚会議

表 10 大阪府の対応状況<sup>12</sup>

	日時	対応状況
1	6月18日 07:58	災害対策本部設置
2	6月18日 09:10	先遣隊の派遣(府の職員2名)
3	6月18日 09:30	第1回災害対策本部会議開催
4	6月18日 10:30	第2回災害対策本部会議開催
5	6月18日 12:00	自衛隊へ災害派遣要請
6	6月18日 12:30	第3回災害対策本部会議開催
7	6月19日 10:00	第4回災害対策本部会議開催

<sup>10</sup> 関西電力株式会社大阪府で発生した地震の影響について(第五報:6月18日11時)をもとに当社作成

<sup>11</sup> 首相官邸の発表資料をもとに当社作成

<sup>12</sup> 大阪府の発表資料をもとに当社作成

表 11 企業の対応状況<sup>13</sup>

	業種	対応状況
A社	電気機器製造業	従業員が出社できないため、工場の操業を停止。 天井の一部落下、導管の一部破損、設備の位置ずれ。 操業再開時期未定。
B社	電気機器製造業	工場建屋に、ひび割れ等の被害が発生。 被害状況について確認中。
C社	自動車製造業	自社従業員に被害なし。 サプライヤの被害状況を調査中であり、生産再開の目は立っていない。
D社	飲食業	従業員の出勤不可、水道・ガスの供給停止の影響で、一部店舗の営業を休止。
E社	小売業	従業員の出勤不可により、開店時間を遅らせて対応および一部店舗の営業を休止。
F社	娯楽施設	鉄道の運休等により、営業を休止。

#### 4. 地震対策のポイント

今回の地震の被害や特徴を踏まえた地震対策のポイントを以下に示す。

##### 4.1. 人命安全に係る対策の再点検

ブロック塀が崩落する危険性は、以前から指摘されていたことであり、安全基準も定められているが、現状では基準を満たしていないものが多数ある。

熊本地震では、ブロック塀の倒壊により負傷者が発生して、訴訟に発展した事例もあるため、基準を満たしていなければ管理者責任を問われる可能性があることを認識すべきである。

企業においては、事業継続の観点で重要な施設や設備に対して耐震補強を進めていると思われるが、ブロック塀のような重要度は低くても人命安全に係るものについて再点検することが必要である。

- 敷地境界等の道路脇にあるブロック塀を点検する
- 人がよく通るルート、普段の職場などに危険な箇所がないかを確認する
- 避難訓練の際に避難経路上の危険箇所を確認する

また、地震はいつ起こるかかわからないので、職場や家族で様々なケースで地震に遭遇した場合の安全確保行動を確認しておくことも重要である。

- 屋外にいるとき
- 電車に乗っているとき
- 自動車を運転しているとき など

##### 4.2. 出社・帰宅困難者への対応

今回の地震は、通勤・通学時間帯に起きたため、交通機関の停止により徒歩で移動する人が多く発生した。ニュースでは、車道上を歩行する人の映像もあり、危険な状況もみられた。

<sup>13</sup> インターネットや新聞各紙の情報をもとに当社作成

多くの企業では地震発生が午前中だったことや津波や大規模火災などの危険性がなかったことから、帰宅許可を出したと思われる。

しかしながら、都市部で大地震が発生したときに、従業員が一斉に徒歩帰宅をすると、「歩道の混乱による将棋倒し」による危険、「救助、救急活動や緊急輸送活動の遅れ」などが発生する恐れがあり、大阪府は事業者に対して一斉帰宅の抑制を促している。

今回の地震は、比較的被害が軽微であり、大勢の徒歩移動者による問題はなかったように思われるが、外出先で地震に遭遇した場合の行動ルールを再確認しておくことが望まれる。

外出時に地震に遭遇した場合の対応ルール（例）

- ①まずは身の安全を確保する
- ②家族や職場へ安否を連絡する
- ③出社・帰宅の判断は、安全を最優先に考える（無理に出社する必要は無い）
- ④帰宅時は、帰宅完了の旨を職場に連絡する

#### 4.3. SNS のデマ情報への注意

SNS は情報収集・発信の手段として有効であるが、中には下記のようなデマが拡散した。

「シマウマが脱走」、「京セラドームに亀裂が入っている」、「京阪電車が脱線」、「外国人が暴動」など SNS 情報の真偽を見極めることは難しいが、不正確な情報があるという前提で注意することが望まれる。

- 情報の発信元を確認する
- 一つの情報だけで判断しない（複数の情報から総合的に判断する）
- 未確認の情報をむやみに拡散しない

また、企業においては、下記のような対応も求められる。

- SNS に、実際に起こっていない事故や被害などの情報が拡散されていないかモニタリングする。
- 自社の被害状況等を SNS で発信しないように従業員に注意喚起する。

#### おわりに

熊本地震後、約2年間に人的被害が発生した地震は、10件発生しており、地震対策の推進は急務と考えるべきである。

本稿が、防災・減災活動の一助になれば幸いである。

#### 参考文献

- 気象庁平成30年6月18日07時58分頃の大阪府北部の地震について（第2報）、  
<http://www.jma.go.jp/jma/press/1806/18e/kaisetsu201806181600.pdf>,（アクセス日：2018-6-19）
- 気象庁平成30年6月18日07時58分頃の大阪府北部の地震について、  
<http://www.jma.go.jp/jma/press/1806/18a/kaisetsu201806181000.pdf>,（アクセス日：2018-6-19）
- 消防庁災害対策本部大阪府北部を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況（第12報）、  
<http://www.fdma.go.jp/bn/3fcaa278a6d6da93e5d8b947851b92da358b0254.pdf>,（アクセス日：2018-6-19）

関西電力株式会社発表, [http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/pdf/0618\\_2j\\_01.pdf](http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/pdf/0618_2j_01.pdf), (アクセス日:2018-6-19)  
大阪府第4回災害対策本部会議資料,  
<http://portal.osaka-bousai.net/share/attachedfile/emergency/0000007256/30061910.pdf>, (アクセス日:2018-6-19)  
国土交通省大阪府北部を震源とする地震について(第6報),  
<https://www1.mlit.go.jp/common/001239124.pdf>, (アクセス日:2018-6-19)  
関西電力株式会社大阪府で発生した地震の影響について(第五報:6月18日11時),  
[http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/0618\\_5j.html](http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/0618_5j.html), (アクセス日:2018-6-19)  
首相官邸, <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/earthquake20180618/>, (アクセス日:2018-6-19)  
大阪府, <http://www.pref.osaka.lg.jp/koho/saitaiosakaeearth/index.html>, (アクセス日:2018-6-19)

### 執筆者紹介

中島 克人 Katsuhito Nakajima

リスクマネジメント事業本部  
BCMコンサルティング部  
上席コンサルタント  
専門は事業継続 (BCM・BCP)

飛鳥馬 隆志 Takashi Asuma

リスクマネジメント事業本部  
BCMコンサルティング部  
上席コンサルタント  
専門は事業継続 (BCM・BCP)

### SOMPOリスクアマネジメントについて

SOMPOリスクアマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスグループのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「ヘルスケア事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社のリスクマネジメント(ERM)、事業継続(BCM・BCP)、健康経営推進支援、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

### 本レポートに関するお問い合わせ先

SOMPOリスクアマネジメント株式会社  
経営企画部 広報担当  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル  
TEL: 03-3349-5468 (直通)